

(第1回)契約変更の内容

契約変更年月日	令和8年3月17日	
契約業者名	村上建設株式会社	
契約業者の住所	鹿児島県奄美市名瀬小浜町29番9号	
工事の名称	令和7年度名瀬港(本港地区)岸壁(-7.5m)(改良)(2)工事	
工事場所	鹿児島県奄美市名瀬塩浜町地先	
工事種別	港湾土木工事	
工事概要	別紙のとおり	
工期(自)	令和7年7月1日	
工期(至)	令和8年3月19日	
変更前の契約金額	226,589,000	円 (税込み)
変更金額	14,960,000	円 (税込み)
変更後の契約金額	241,549,000	円 (税込み)
変更理由	1. 荷役車両、運送車両等の通路を確保するため立入防止フェンスの設置箇所を変更した。また、一部段差が生じており段差部を舗装する必要が生じた。 2. ワイヤソー切断の数量及び費用が確定した。 3. 電気防食の撤去数量、撤去費用及び処分費用が確定した。 4. 街灯がクレーン作業の支障になることから撤去及び処分費用が確定した。 5. ペトラタム被覆防食の規格をスタッドボルト式に変更した。 6. クローラクレーンの分解及び復路の運搬費用が確定した。 7. 製作に期間を要することから鞘管の製作数量及び費用が確定した。 8. グラウトサットホルダーの設置が困難なため底面型枠にて対応する必要が生じた。 9. 被覆石及び基礎捨石の撤去数量及び費用が確定した。 10. コンクリート切断時に発生する排水処理の数量及び費用が確定した。 11. 上部工の鉄筋において規格及び数量の変更が生じた。 12. 支保工を解体した場合に現場打ち小桁部の安定性に影響を与えるため別件工事に支保工の解体を引継ぐことにした。 13. 支保工解体後に施工予定の桁受けプレート撤去の一部、ペトラタム被覆防食の一部、消波ブロック及び被覆石の復旧においても別件工事に引継ぐことにした。 14. 快適トイレについて費用が確定した。 15. 地域外からの労働者確保に要する間接費の費用が確定した。	

工 種 名 称	規格・形状寸法	単位	数量	摘 要
岸壁(-7.5m)(改良)(2)				
構造物撤去工				
コンクリート渡版撤去	5.3～11.0t/個	枚		原契約のとおり
グレーチング渡版撤去	1.1t/枚	枚		
コンクリート受桁撤去	2.0t/個	個		
床版撤去	10.3t/個	箇所		
上部コンクリート撤去		個		
鋼管杭切断		本		
被覆防食撤去	ペトロラタム被覆	箇所		
消波ブロック撤去仮置	中空三角ブロック2t型	個	65	
被覆石撤去仮置	200kg/個内外	m	14	
捨石撤去仮置	5～100kg/個程度	m	12	
既設電気防食撤去		個	7	
街灯撤去		基	1	
本体工				
鞘管(type-1)製作・設置	φ850×t9mm L=5.3m	本	—	原契約のとおり
鞘管(type-1)製作	φ850×t9mm L=5.3m	本	7	
鞘管(type-3)製作・設置	φ850×t9mm L=5.4m	本	—	原契約のとおり
鞘管(type-3)製作	φ850×t9mm L=5.4m	本	7	
鞘管(type-5)製作・設置	φ850×t9mm L=5.6m	本	—	原契約のとおり
鞘管(type-5)製作	φ850×t9mm L=5.6m	本	7	
鞘管(type-6)製作・設置	φ850×t9mm L=4.4m	本	—	原契約のとおり
鞘管(type-6)製作	φ850×t9mm L=4.4m	本	7	
グラウト注入		本		
鋼管杭中詰コンクリート	30N-12-20BB	本		
上部工				
プレキャスト桁(1)据付	W=6.2～6.3t/個	個		原契約のとおり
プレキャスト桁(2)据付	W=10.4～10.5t/個	個		
場所打ち部コンクリート	30N-12-20BB	m		
付属工				
〈電気防食〉 流電陽極式	2.0A(50年型)	個		
〈被覆防食〉 ペトロラタム被覆		m2	27	鋼管杭 10本
復旧工				
基礎捨石復旧	5～100kg/個程度	m	8	
被覆石復旧	200kg/個内外	m	0	
消波ブロック復旧	中空三角ブロック2t型	個	0	
仮設工				
立入防止フェンス撤去	H=1,800mm	m	49	
立入防止フェンス設置	H=1,800mm	m	44	
立入防止フェンス再利用設置	H=1,800mm	m	49	
門扉移設	W=4,000mm×2、H=1,800mm	箇所	1	
共通工				
汚濁防止膜設置・管理・撤去	H=3.0m	m	—	原契約のとおり